



意見受付公告 JIS F 規格の概要

規格番号	JIS F xxxx:201x
規格名称	船舶及び海洋技術—係留チョック
英文規格名称	Ships and marine technology —Mooring Chock
制定・改正の別	制定
審議委員会	甲板機械およびびぎ装分科会
基礎として用いた国際規格の番号、名称及び同等性	ISO 13713:2012「Ships and marine technology -- Ship's mooring and towing fittings – Mooring chocks」
概要	<p>この規格は、2012年に第1版として発行されたISO 13713:2012を基に、翻訳のうえ作成した日本工業規格である。本規格は、ISO 13713の作成過程で織り込まれたJIS F2005:1975「クローズドチョック」の内容を規定しており、ISO 13713には織り込まれなかった内容についても、国内独自の追加項目として規定している。なお、JIS F2005:1975は、ISO 13729:2012の対応規格として作成されたJIS F xxxx:201x「クローズドチョック」が新規制定されたことにより、名称の混乱を避けるため、廃止される。</p> <p>本規格は、JIS F2005:1975の規定内容を織り込んだISO 13713を翻訳のうえ、国内独自の寸法を入れ込み、主に以下のとおり項目を規定している。</p> <p>a) ISO 13713が規定する適用範囲*1を全面的に採用した。</p> <p>*1＝この規格は、船舶の係留及び曳航ロープを導くために設置した係留チョックの設計、サイズ及び技術的要件について規定する。</p> <p>b) JIS F2005が規定する材料規格JIS G5101は、ISO 13713の仕様を満足すれば十分な強度が担保できると判断され、削除した。</p> <p>c) ISO 13713は係留チョックのSWLのみを規定しているため、JIS F2005が規定する適用ロープ径の引用規格であるJIS G3525及びJIS L2701は削除した。</p> <p>d) ISO 13713が規定する呼び寸法のサイズは250x200～500x250であるが、我が国で従来から使用されているサイズである100x76、150x110、200x150に加え国内から要望のあった大型クローズドチョックの規格化について、OCIMFの要求に従った500x400mmサイズを規格化することにした。</p> <p>なお、本規格案の規定内容は次のとおり。</p> <p>規定内容:2) 引用規格 3) 用語及び定義 4) 種類 5) 寸法 6) 材料 7) 構造 8) 製造及び処理 9) 表示</p>